

	項目名	内容	地区・場所	備考	担当	回答
1	コミュニティ無線整備の進捗状況について	<p>・新たな転入世帯に対し有線受信機の設置もできず対応に苦慮している。</p> <p>①防災無線の整備計画における進捗状況はどうか。 (戸別受信機設置時期、運用開始時期等)</p> <p>②各家庭へのアンケート調査の結果を踏まえた、現有線撤去費に係る各町への補助の見直しはどうか。</p> <p>③各世帯への周知、通知はどのようにされるのか。 (例:スマホの操作方法、区長からの伝達方法等)</p> <p>① 項目「1」のコミュニティ無線整備の落札業者はどこか。</p> <p>② 着信が携帯にできるようにし、その差額で撤去費用が出るのではないかと、後日回答でいいです。</p>	繁昌町 栄町 鶉野中町		総務部	<p>①11月に入札を行い、12月から南部公民館に基地局、田原公会堂・網引営農センター・別府中公民館に再送信局の設置を行ってまいります。電波の送信テスト完了後、2月末から各戸に個別受信機を配布し、各戸の受信状況確認後3月下旬より運用開始の予定にしています。</p> <p>②アンケート結果によりますと、当初の予定数より少なくなっていますが、事業完了後正確な数量を把握したうえで、少なくなった分の事業費を積算し、撤去費に充当できるかの検討を行いたいと考えております。</p> <p>③各世帯への周知・通知については、各戸配布で対応したいと考えております。また、区長からの伝達方法等については、区長会に出席させていただき、操作方法等を説明(簡単なマニュアルを作成し配布)させていただきたいと考えております。</p> <p>① NEC系列です ②携帯で代用することで発生した余剰財源を撤去費用に回すことは可能です</p>

2	イノシシによる農作物の被害対策について	<p>①市内における各地区の被害状況及びイノシシ捕獲は猟友会に委託されているが、市全体での捕獲状況をお聞かせ願いたい。 ・イノシシ対策として主要な場所には金網柵や電気柵を設置している。</p> <p>②水稻の乳熟期9月は特に格好の餌で活動が活発な時期である。檻による駆除期間は6～8月迄であるが期間を10月まで延長してもらいたい。</p> <p>③電気柵設置に係る一部補助の上限(20万円)を増額してもらいたい。また個人による補助金申請は認められないのか。</p> <p>④金網柵に木の枝等が生い茂り、地域内での伐採に困難をきたしている。維持管理を行う伐採作業に係る費用に対して補助をお願いしたい。</p> <p>⑤昨年のミーティングにおいて「保守管理の効率化を図るため新たに電気防護柵対応の防草シートを補助対象に加えることを検討している」との回答があったが、本年度新たに予算計上されているのか。</p> <p>⑥イノシシの捕獲に対する報奨金制度を設けてもらいたい。 (20,000円/頭、幼獣10,000円/頭)</p> <p>⑦イノシシ等大型獣を捕獲するための檻購入に補助をお願いしたい。</p>	田原町 南網引町 栄町 繁昌町 鶉野南町		地域振興部	<p>①有害捕獲で165頭、狩猟で308頭です。</p> <p>②わなによる有害捕獲期間については、猟友会加西支部と協議していますが、わなの設置・管理には多大な労力を要するため、期間延長については合意いただけておりません。引き続き協議を続けていきます。</p> <p>③電気柵設置補助については補助上限(20万円)は変更していませんが、設置距離1mあたりの補助上限を136円から168円に上げました。電気柵の補助については、水稻など出荷作物への獣害を集落で共同し、効率的に防ぐ取組に対し補助するもので、個人への補助については考えておりません。</p> <p>④金網柵を新設する際には、市から資材提供を行っていますので維持管理の伐採作業については地元で対応をお願いします。</p> <p>⑤電気防護柵対応の防草シートは、シート内に電線を織り込んだ導電性の防草シートで、多大な経費がかかるため補助対象には加えていませんが、既設の金網柵にガイシで設置する電気防護柵(補助率1/2、上限50万円)を新たに補助対策に加えしました。</p> <p>⑥猪捕獲報奨金制度については、これまでも猟友会加西支部と協議をしましたが、報奨金制度の導入は、単に捕獲数を増やすため、容易にとれる場所での捕獲となり、被害の軽減につながらないとの理由から、合意を得られていません。</p> <p>⑦猪の捕獲については狩猟免許取得、狩猟登録が必要です。集落内で免許を取得、または猟友会会員の協力を得られる場合には、捕獲檻の購入については、多面的機能支払い交付金が活用できます。</p>
		<p>① 項目「2」のイノシシ対策をもっと補助だせる話がほしい。</p> <p>② 伐採は可能なのか。</p> <p>③ 狩猟期間を前倒にできないか。</p> <p>④ 「むやみに捕ってはいけない」と書いてあるが、捕ったらあかんのか。</p> <p>⑤ 人的被害があったらどうするのか</p> <p>⑥ 10月まで延長できないか</p> <p>⑦ ここだけ大丈夫だとできないか</p> <p>⑧ 一年中やってほしい</p>				<p>①多面的交付金は国なので、補助金の二重取りはできません</p> <p>②可能です</p> <p>③できません</p> <p>④被害を与えている所から捕っていきます</p> <p>⑤意見を踏まえたい</p> <p>⑥罠については難しい、地元管理の方法等を考えている</p> <p>⑦協議していきたい</p> <p>⑧できません</p>

3	休耕田の耕作放棄地対策について	<p>農業従事者の高齢化、後継者不足に伴い、水田や畑の耕作放棄地が増加しており、害虫やイノシシ等が身を潜める格好の場となっている。農業の維持には、人材が必須である。市としての今後の具体的な方針・対策をお聞かせ願いたい。</p>	<p>栄町 繁昌町</p>		<p>地域振興部</p>	<p>全国的にも農家の高齢化と後継者不足により、耕作放棄地が増えることが懸念されています。そのため、国では農業経営基盤強化促進法を改正し、人・農地プランの法定化を行い、地域農業の将来計画である将来地図と地域計画を各地区で作成することを求めています。</p> <p>地域計画の作成は、農業者や地域農業の担い手、市、農業委員会、農業関連団体が集まり話し合いを行なって、地域農業を誰が担っていくのかなど決めていくこととなりますのでご協力をよろしく願います。</p>
4	水田活用の直接支払い交付金の見直しについて	<p>将来にわたり安定的な営農・農地の維持が展望できるよう、一律な見直しの制度を適用されないことを期待する。また、今回の見直しにより明らかになった様々な課題を確実に実証し、今後も現場の実情を十分に踏まえた支援措置を講じられたい。</p>	<p>鶉野南町</p>		<p>地域振興部</p>	<p>水田活用の直接支払い交付金については、国が制度設計を行うため加西市独自の運用ができないことをご理解ください。</p> <p>交付金の交付対象水田の水稲作付けの5年ルールについては、地域課題を県を通じ国に伝えていますが、まだ明確な運用方法が国から示されていません。国が定めた運用方法を見ながら、対応についても考えていきたいと思えます。</p>
5	物価高騰対策支援について	<p>物価が高騰している中、米価は低下据え置きで農家の負担は益々増加している。そのような状況下に加えイノシシ等害獣対策を行うために多額の費用を要している。よって、農家への物価高騰対策として何らかの支援をお願いしたい。</p>	<p>田原町</p>		<p>地域振興部</p>	<p>加西市では7月臨時議会で原油価格高騰対策支援金の補正予算を承認いただき、市内の商工業者や集落営農組織、認定農業者、主たる収入が農業である個人農業者の光熱費、燃油費の補助を行いました。</p> <p>国の肥料価格高騰対策がこれからこれからは行われますが、要件としては国の示す化学肥料の低減の取組を2つ以上行う農業者に対して助成するものですが、JAまたは商系の肥料店が申請窓口となっていますので、肥料を購入されたところにお問い合わせください。</p>

6	多面的機能交付金の市全地区一元化管理について	<p>共同及び長寿命化の予算は各町へ配分であるが、「共同」は農地保全に重点を置いた施策であり、「長寿命化」は町単位ではなく本当に必要な箇所の修繕や更新のものであり、一考の時期に来ている。そのためには、加西市各町の予算管理を一元化することにより広範囲の情報を集めることもでき、各町の作業及び事務負担軽減が図られるとともに、荒廃を少しでも軽減できるものとする。そのような組織づくりを要望する。</p> <p>(追加要望)多面的12月にアンケートを取ってほしい</p>	鶉野上町		地域振興部	<p>以前より多面的機能支払交付金活動組織の広域化については、さまざまな議論が御座います。現在、加西市では広域化組織はなく、多面的機能支払交付金は各組織ごとに活用されています。ご指摘のように組織間で交付金を有効利用するには、広域化組織を作る必要があります。広域化する目的として、考えられるメリットは3点あります。</p> <p>①長寿命化の県優先配分を受けられる ②事務手続きが簡易になる ③今回ご指摘のように集落を超えて交付金を融通しあえる</p> <p>これまで加西市におきましても、広域化への検討の取組みは、R元年度に県庁担当者も交えた説明会や広域化への取組に関するアンケート調査を2回、R2年度に九会地区の個別説明会、R3年度に再アンケート調査を実施したところ回答いただいた組織の7割が広域化せず、現行のままでよいとの回答結果でした。</p> <p>今後の課題としましては、広域化はやはり全組織での取組みが基本となりますので、その辺りの組織間の合意形成が必要になってくるものと考えられます。今後も、多面的機能支払交付金を有効利用し、今後の加西市の農地を守るためにはどのような組織が最適なのか、各組織と議論を継続していきたいと考えています。</p>
7	国道372号線の歩道整備について	<p>国道372号線の中野町地内の歩道幅員は狭く、至る所に段差がある。高齢者や雨天時に傘をさしての歩行は大変危険な状況にある。現在、量販店の出店もあり近隣の高齢者の手押し車での買い物客も多く車道を歩いている高齢者も見かける。国の管轄とは承知しているが、段差のない安全・安心な歩道に整備されるよう、早急に国に要請していただきたい。</p>	地内一部 国道372号線 歩道 中野町		都市整備部	<p>国道372号の中野町地内の歩道未整備区間の整備について、県と協議を行いました。</p> <p>現在、兵庫県では学童の安全を最優先事項とし、通学路指定されている箇所の歩道整備を優先的に進めています。ご要望の未整備区間については、通学路として指定されていないので、「優先順位は下がります。」とのことでした。</p> <p>市内には、歩道のない通学路も多く残されておりその整備が最優先課題となっているため、既設歩道の整備は次期の課題とさせて頂きたくお願い致します。</p>

8	<p>鶉野飛行場跡の周辺整備について</p>	<p>・鶉野飛行場線の全面早期開通を期待しているが見通しはどうか。 ・変則交差点の安全対策は万全か。(生活道路、中-高生の通学路) ・「道の駅」建設計画について進捗状況はどうか。 ・Drヘリが発着しているが今後正式な発着場所として検討しているのか</p>	<p>鶉野中町</p>		<p>都市整備部 ふるさと創造部</p>	<p>市道鶉野飛行場線整備については、令和6年の春頃の全線開通を目標に事業推進に取り組んでいます。 市道中野家塚線との交差点の安全対策について、警察の指導により行ってまいります。この交差点は、国道372号バイパスの全線完成時に信号機を設置して頂くよう要望しており、児童の通学路でもあるため、暫定形も含め十分に警察とも協議を行いながら安全確保に務めてまいります。 令和3年度には本市の特性と特色ある地域資源を活用した道の駅の整備について可能性調査及び基本構想策定を実施しました。本年度は、この基本構想を基に、国の官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業を活用し、各種法的な手続きや、民間の参画意向などのサウンディングのほか、PPPやPFIの可能性調査・検討を行い、その結果を整備スケジュールも含めた道の駅整備を推進する基本計画としてとりまとめます。 Drヘリの発着については、現在滑走路跡の南側を活用しています。今後の利用についても関係機関の要望も踏まえ検討してまいります。</p>
9	<p>農道等への迂回車両への注意喚起について</p>	<p>国道、県道の渋滞時には一般車両が河川堤防・生活道路等へと頻繁に迂回している状況が見受けられる。事故防止等のためにも、通行の規制や注意喚起する看板の設置をお願いしたい。</p>	<p>田原町</p>	<p>添付資料【九会地区①】</p>	<p>都市整備部</p>	<p>渋滞を避けるための河川堤防や生活道路へ迂回する車両については、車両の通行自体を止めることは困難ですが、「通り抜けご遠慮ください」などの看板を設置し、注意を喚起します。</p>
10	<p>補助金・助成金制度の情報提供について</p>	<p>市からの区長宛や区長会資料による補助金、助成金の情報は有難いが、他にも知られていない制度も数多くあると思われる。町に対する補助金・助成金制度はもちろん市民個々に関わる市の補助金・助成金制度の一覧表を、せめて区長だけにでも提供していただきたい。</p>	<p>網引町</p>		<p>総務部</p>	<p>各自治会や市民に対する補助金・助成金等の情報につきましては、区長発送や代表区長会資料及び市のホームページ等において周知を図っているところですが、複数の分野、部署に跨っていることから、一覧としてまとめていないのが現状です。 この度のご要望を受け、新年度予算(来年度)からとなりますが、補助金・助成金等の情報が一覧として皆様にご提供できるよう、対応してまいります。</p>